

IsaVRd-Lite療法【2コース目以降】(day1,15)

【血液内科】255-1,15【多発性骨髄腫】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	/
サークリサ	↓	休薬	↓	休薬	
ボルテゾミブ	↓	↓	↓	休薬	
オルガドロン	↓	休薬	↓	休薬	
レナデックス(経口)	休薬	↓	休薬	↓	
レブラミド	経口: Day1-21				

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	生食 250mL 20mL/hr(終了時残破棄)
※①	10時	同時に側管より カロナル内服(必要時) → 別途内服オーダー ボラミン注5mg 1A (必要時) ガスター注20mg 1A (必要時) オルガドロン注19mg 1V 生食 100mL 30分
②	10時30分	●サークリサ【 】mg 生食 250mL 1時間15分
③	11時45分	●ボルテゾミブ【 】mg 生食 1.2mL 皮下注射 ※ボルテゾミブ1Vを生食1.2mLで溶解

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
サークリサ	10 mg/kg mg/Body
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ² mg/Body
オルガドロン	mg/m ² 19mg/Body
レナデックス(経口)	mg/m ² 20mg/Body
レブラミド(経口)	mg/m ² 25mg/Body

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- サークリサ投与時は輸液ポンプを使用すること。
- サークリサ投与中または投与開始後24時間以内にinfusion reactionが起こる場合があるので注意すること。
- 1コース目においてinfusion reactionが認められなかった場合は、2コース目以降のサークリサ投与における前投薬の必要性を再検討することができる。
- サークリサの投与速度 (詳細は点滴速度換算表参照)
- 《3回目投与以降》
200mL/hr

入力 薬剤師	看護師	看護師